

条幅部自由参考

9月25日正午必着

明石春浦先生書



山林受用琴書鶴、天地交遊風月吾（葉菌）

琴・書・鶴は山林の楽しみになくってはならぬもの。天地間の友は、風と月と吾。

雨宮春聲先生書



健康は幸福の母である。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

修竹含清景（張九齡）

修竹清景を含む

幹の長くのびたる竹林がきよらかな影をなげている。

星河不動天如水
風露無聲月滿樓（陳安）

星河動かず天水の如し。
風露声無く月楼に満つ。

天空は水の如く澄んで天の川は動かず、そよ風に音もな
く露おちて、月光は高樓に満ちている。

南溪別業（岑参）

南溪の別業 岑参

結宇依青嶂 開軒對翠疇
樹交花兩色 溪合水重流
竹徑春來掃 蘭樽夜不收
逍遙自得意 鼓腹醉中游

宇を結びて 青嶂に依り 軒を開きて 翠疇に対す
樹交つて 花兩色 溪合して 水重流す
竹徑 春來 掃い 蘭樽 夜も収めず
逍遙して 自ら意を得 鼓腹して 醉中に遊ぶ

遠き樹の上なる雲とわが胸とたたまたまあひぬ 静かなる日や（尾上柴舟）

朝飲木蘭之墜露兮、夕餐秋菊之落英。
浪々之遊人、病美。 2.0

朝には香高い木蘭のしたたる露をのみ、
夕には秋菊の散り落ちる花びらをくらう。
楚辞・離騷

朝には香高い木蘭のしたたる露をのみ、
夕には秋菊の散り落ちる花びらをくらう。

明石幸子書

半紙部規定課題A

9月25日正午必着

一 停舟試
過

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

9月25日正午必着

行書

停舟試
一過

隸書

停舟試
一過

明石春浦先生書

停舟試
一過

停舟試
一過

草書

行草書

呉の地を遊歴し 更に越の地方に行き ただ風まかせ 波まかせに往来する
またも貴方をお送りするのだが 春の草の茂るのをどうすればよいのでしょうか
山の頂は明るく まだ雪が残り 潮は満ちて いっぱいに夕陽の日ざし
いまものこる季子の祠廟 舟をとめて ちょっと立ち寄られるよう

送韓司直 皇甫冉

游呉還適越

来往任風波

復送王孫去

其如芳草何

山明殘雪在

潮滿夕陽多

季子留遺廟

停舟試一過

韓司直を送る 皇甫冉

呉に遊び 還た越に適き

来往 風波に任す

復た王孫を送り去る

其れ芳草を如何せん

山明らかにして 残雪在り

潮満ちて 夕陽多し

季子 遺廟を留む

舟を停めて 試みに一たび過らんことを

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

9月25日正午必着



吾が馬は既すでに同あつる、

三浦士岳先生臨書



吾車既工 吾馬既同 吾車既好 吾馬既驕 君子員邈 員邈員旂 麀鹿(速々)



清吳昌碩・臨石鼓文

吳昌碩は一八四四年(道光二十四年)に、浙江省安吉縣村の挙人の家に生まれ、一九二七年(中華民國十八年)十一月上海の寓居で卒した。名は俊、俊卿、字は昌碩、蒼石、倉石、号は缶廬、苦鉄、石人子など数多い。はじめ父の辛甲から教育を受け、十歳の頃には隣村の私塾に通い学んだ。十七歳の時、太平天国の乱によって一家は離散、彼は湖北省・安徽省を転々として難を逃れ、五年後の二十一歳の時ようやく故郷へ戻った。二十二歳の時、試験を受けて「秀才」の資格をとったが、官界にはあまり興味をもたなかったという。二十九歳のとき故郷を出て、杭州・蘇州・上海に遊学し、多く文人から影響を受けた。詩・書・画・篆刻ともに精通し、「四絶」と称賛され、清代最後の文人といわれた。石鼓文は中国最古の石刻で、太鼓状の石に刻されているのでこの名がある。高さ約九〇センチ、直径六〇センチほどで、全十石から成る。小篆と古文の両面を備えており、吳昌碩の臨書は原本の石鼓文よりさらに縦長になっている部分が多くある。特に脚部にそれを見ることが多く、小篆に近い姿になっているといわれており、原本と比較しながらの臨書も重要な臨書姿勢ではないか。この臨書は七十五歳の時のもので、技術的に完成した傑作といわれている。(春濤)



端 虚 (莊子) 正しくて邪念がない。

△做書参考作品▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



吾が馬は既に同、吾が車は既に好く、吾が馬は既に馳なり、君子は(員に獵し、...)



きゅう
休

か
暇

中学一年

雨宮春聲先生書



じょう
情

ねつ
熱

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



かい

てん

小学五年

榎戸春龍先生書



よう

がく

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

9月25日正午必着



かわ
川

ざかな
魚

小学三年

藤田幸春先生書



ば
馬

ぐ
具

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

へ び 小学一年・幼年



森戸春濤書

夕 日 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

を
も
っ
て
行
動
す
る

何
に
も
ま
け
ぬ
意
志

小学五年

雲
の
切
れ
間
か
ら
ま

る
い
月
が
顔
を
出
す

小学六年

心
待
ち
に
し
て
い
る

友
だ
ち
か
ら
の
手
紙
を

中 学

上
に
は
い
舟
も
見
え
る

と
び
ち
る
波
—
び
き
海
の

一般(級位)

たのびと
旅人の袖吹きかへす秋かぜに夕日さびしき山のかげはし(藤原定家)

夕
日
さ
び
し
き
山
の
か
げ
は
し

旅
人
の
袖
吹
き
か
へ
す
秋
か
ぜ
に

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

し	や
ゃ	ね
ぼ	ま
ん	で
だ	と
ま	ん
	だ

幼年

み	子
を	り
	す
あ	が
つ	
め	き
る	の

小学一年

子	木
ど	の
も	ぼ
の	り
パ	を
ン	す
ダ	る

小学二年

て	土
や	地
さ	を
い	た
を	が
作	や
る	し

小学三年

求	ア
め	フリ
て	カ
旅	象
を	は
す	水
す	を
る	

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

たりりうりめ
 ふうの古ね
 ようしーぬねがし
 ありたりめ



岩本景楓先生書

もりか^可かげ^介の
 ふち^華の古^古ね^二に
 よる^可しか^能の
 眠^ねり^むし^利づ^希け^支き^者
 はる^可の雪^奈かな
 (会津八一)